

留学途中経過報告書【11月】

11月：中間テスト、リスニング大会、作文コンテスト、HSK

→テストをはじめ様々な学校行事にむけて勉強。初のHSKもあるので更に勉強。

(年間計画書より)

⇒達成度：机についての勉強が不足。HSKに向けて勉強量を増やすことが課題。

①学校全体の状況

- ・ 10/30～11/1まで蘇州大学運動会。30日(木)の午後から開幕式が行われ、31(金)は授業がお休み。参加または応援に行かない学生は3連休になる。そしてこの週の初めには体育学部だけの運動会も行われていた。
- ・ 11/3～中間テストが開始。必修科目だけなので私は3科目。
- ・ リスニング大会、作文コンテスト、HSKはまだ開催されていないので次回報告。

②授業・学習状況

- ・ クラスのうち2人が同じレベルの別クラスに移動。先生の関係で移ることにしたようだ。
- ・ 時間通りに授業来る人が減り、少しずつ空席も目立ち始めた。
- ・ 新しい韓国からのクラスメイトが1人増えた。
- ・ ロシアから来た2人がクラスの見学に来た。
- ・ 会話力：最近会話力については褒めてもらえることが非常に多く、しかし特に後半だんだん会話力が落ちてきたと感じ始めた私は、自分の気持ちと全く正反対の周りの反応に混乱している。前に進みたいがそのために少し戻ろうと思う。今は考えるのではなく確実に話せることをフレーズとして増やしたい。
- ・ 聴解力：道行く人の電話の声、おしゃべりの内容が聞こえてくるようになった。しかし確実に聞きとることのできる単語・表現が増えないことがやはり引き続き問題。人を通しての会話なら文脈から読み取ったり相手の意図を察したりすることもできるが、語学留学をしている身としては、もう1歩先に進みたい。
- ・ 文章力：量を書くと言う点では少しずつだが慣れたと思う。最初は多いと感じたが300字くらいなら苦ではなくなった。作文コンテストの締め切りがいよいよ11/14と迫ってきたので、自分を試すチャンスだと思って参加しようと思う。

③私生活

- ・ 週に2回、大学院生の教える日本語の授業に付き添わせてもらえることになった。しかし参加形態などまだ模索中。大学生の日本語授業は大学院生がするものがほとんどらしく、この大学院生も中国人の友人のクラスの先生ということで紹介してもらった。
- ・ バドミントンの中国全国大会決勝戦が蘇州で行われたので見に行った。
- ・ “秋遊”と呼ばれる学科別で行われる団体小旅行のようなものに参加した。マーケティング学科の“秋遊”で日帰りで烏鎮へ。私はこの中の友人に呼んでもらったのだが、このように比較的自由に他の友人も呼べるらしいが、外国人どころか他の学科の学生は私だけのような感じだ。このほか

留学途中経過報告書【11月】

に春には“春遊”もあるらしい。

- ・ 中国独特の水の買い方を実行中。1回買うと個人番号のようなものを渡され、それ以降は電話で番号を言えば家まで届けてくれる。届くまでの時間は30分～4時間(経験談などから)と差が激しいが割安である。
- ・ 友人を訪ねて初めてひとりで上海へ行った。
- ・ 以前公立大学に留学していた丁寧さんに手料理をご馳走になった。蘇州と公立大の関係者が時々集まろうということで作った“公蘇会(gongsuhui)”の第1回目となったと思う。
- ・ “昆曲”という地域のミュージカルのようなものを見に行った。付近の昆曲博物館も見学。
- ・ 同年代のクラスの女の子達でお食事会を開催。
- ・ 運動会では大縄と綱引きに参加。学部対抗なのだが、私は思いがけず留学生学部大縄のリーダーになった。運動会までにみんなで時間を合わせて練習もした。
- ・ 日本語学科3年生との交流会に参加。
- ・ 去年公立大に来た短期留学生(今は就職している)が私達を訪ねて来てくれた。
- ・ 以前空手を習っていたオーストラリアの友人に、蘇州大学の空手部を紹介。(私は日本人の友人の関係で蘇州大学空手部のことを知っていた)

④その他

- ・ 11月に入るとすっかり寒くなってコートを着ている人も見かけるようになった。加えて蘇州の11月は雨が多いらしい。
- ・ 中国牛乳ブランドの安全に関するポスター(先月のチラシのさらに新しいもの)が校内スーパーに張り出された。
- ・ 中国全土の規模で農民運動会が開催されていたらしい。

⑤感想

日本を発って3ヶ月の記念日まであと1週間。中国蘇州でお仕事をなさっている先輩から聞いたのだが、3という数字はとても重要らしい。3日、3週間、3ヶ月、3シーズン。私はこの3ヶ月でどれくらい伸びることができたのだろうか。

最近の私が思うことは、行動力の大切さ。ちょっと何かしてみたいと思うことがあっても、私は多くの場合勇気がなくて行動に移すことができない。しかしほんの少し動くだけで、周りはそれ以上に答えてくれることがわかった。“動く”と言うと大げさだが、自分のやりたいことを回りに相談するだけでも変化はあるのだ。つまりこのような時にチカラになってくれるのも友人達である。しかもほんの少しの勇気だけで、返ってくる返事は期待を遥かに超えるほど大きいのだ。抱えきれないほどの収穫、それは実際に自分か求めていたものではなく、それに関して友人達が私にくれた優しさ、私のために使ってくれた時間、労力、心力。本当にありがたくて、そして私も何か返したいと思う気持ちがより一層強くなってきた。その友人達にはもちろんだが、中国という国にも返したい。そんな大それたことはできないが、私は中国にいる間はほんの少しだけ特別だと思う。中国に留学している日本人は数え切れないほど多いと思うが、外国人の“日本人”として私にできることが何かあるのではないだろうか。1年前、初めて中国人

留学途中経過報告書【11月】

の友人に“日本人は冷たいと思っていた。歴史のことも知らないし。けどあなた達に会って印象が変わった、日本人は優しいね”と、慣れない日本語で言われたことはきっと一生忘れられない。人の最も深いところにある印象を変えるのは難しい。難しいけれどそんなに遠くないと思う。つまり私がしたいのは、そういうことなのだと思う。また、日本に帰ったときに少しでも多くの例を挙げられるように、今しかできない中国の人々とたくさん関わっていきたいと思う。そして今は中国で日本人の悪い印象を私を変えたいと思った。外見も性格も、よく日本人っぽくないと言われるが、私も完全な日本人である。日本語を勉強している中国人でさえ、多くは仕事のためであったり、日本の漫画やファッションに興味があったりという理由が非常に多く、日本人の印象とは関係のないことが多い。そのため中国と日本の間の誤解にはまだまだ大きな存在感があると思う。中国にいる間は、私は外国人として少しだけ特別でいられる。だから尚更、今という時間は特別で大切だと思う。

そして少し勇気を出して動き出した新しい世界に、今度は自分がどのように答えてゆくか、それもまたとても大きい。“必要なのは勇気ではなく覚悟。決めてしまえば全ては動き始める”これは高橋歩さんという作家さんの言葉で、ずっと私の座右の銘だった。この言葉は今でももちろん私に響いているが、最近はその先、つまり動き始めた後をどのように広げてゆくかを考えてゆくことも大切だと思った。そしてそれによって自分自身を見つめることにもなると思う。覚悟を決めることは、少しずつだができるようになってきたと思う。しかしその後自分がどう動くか、とことん考えて、とことん悩むこと、そして逃げないこと。これが私の今の課題だ。

10月の計画

- ・ 授業中に多くの発言をする
- ・ 語彙量を伸ばす
- ・ 積極的に外に出かけ、多くの中国語を聞く

1. 学習成果

- ・ 授業中の発言及び語彙量の強化について

クラスの雰囲気にもずいぶん慣れたため、授業中の発言は徐々に増えてきている。手を挙げて先生が指名する形式ではなく、学生が自由に発言するという形式に初めは感っていたが、現在ではむしろ一番前の席に座り積極的に先生の問いに答えている。

語彙量の強化は、中間試験の試験勉強をしたこともあり順調に達成出来ているのではないかと思う。だが、発音を聞き単語を書き取るテストでは思い通りの結果が出ていないので、中国語を聞いて単語を理解出来るようにリスニングの力もつけていきたいと思う。

- ・ 来月の課題

11月23日にHSK（漢語水平考試）があるので、ここに照準を合わせて勉強を進める。具体的には、問題集の問題を解いたりリスニングのCDを聞いたりし、理解できない部分を先生に質問しようと考えている。

2. 生活状況

- ・ 大学近辺の散策について

様々な場所に出かけ街の人と話をすること、多くの中国語を耳にすることを計画に挙げていた。このため、大学の周りを中心に出かけることを心がけた。中国人学生と話をするときは、私が聞き取りやすいように速度を落とすなど気を使ってくれるが、街の人との会話は困難な時がある。速度が速かったり、はっきりとした発音ではなかったりすると焦ってしまう。速い速度の会話にも徐々に慣れていきたい。

また、大学内で行われた古琴の演奏会に行った。この時、学内外に中国伝統音楽に触れる機会があることを知ったので、もっと情報を入手し可能ならば伝統楽器の音楽教室に参加してみようと考えている。

来月の課題

冬の蘇州は宮崎と比べると寒さが厳しい日や天気が悪い日が多い。部屋で過ごす時間も増えてくることから、簡単な小説や雑誌を読むことに挑戦していきたい。